

RH同窓名簿

2003年11月にRH同窓名簿を作成し、更新しています。名簿はMicrosoft Excelファイルで作成。700名以上を記載しています。



個人情報保護の観点から一般公開はできませんが、同窓会の目的で使用すること、この名簿の内容をチェックしていただくことを条件に、この名簿の電子ファイルをお渡しします。送付希望の方は編集部(下記)宛てご連絡ください。

La Harmonio 220号(5月発行)の原稿締切は 4月18日(土)

Ĝis antaŭ la 18a de la venonta aprilo, bonvolu sendi vian manuskripton al la redakcio por la numero 220, kiu eldoniĝos en majo, 2009.

MORIKAWA Kazunori, 13-8 Sirie, Oyamazaki-tyo, Kyoto-hu, 618-0071 Japanio

FAX +81-75-955-1627 Retadreso: kz_morikawa@yahoo.co.jp

La Harmonio 219号 2009年2月8日発行
編集発行 Rondo Harmonia (国際語教育協議会)

* 組織委員会書記局

〒631-0815 奈良市西大寺新町 1-2-31-703 竹森浩俊
FAX 0742-36-4302 電子メール takeh703@deluxe.ocn.ne.jp

* La Harmonio編集部・財務担当

〒618-0071 京都府大山崎町大山崎尻江 13-8 森川和徳
FAX 075-955-1627 電子メール kz_morikawa@yahoo.co.jp

* ホームページ <http://esperanto.jp> 電子メール officejo@esperanto.jp

* RH情報誌のホームページ <http://esperanto.jp/info/>

* RH会費(会計年度 1月1日から12月31日まで)

RH会員お一人の場合

一般会費(La Harmonio PDFダウンロード) 2,400円

一般会費(La Harmonio 印刷物郵送) 3,600円

ご夫婦ともRH会員の場合

一般会費(LH PDFダウンロード) + 家族会費 4,200円 (2,400+1,800)

一般会費(LH 印刷物郵送) + 家族会費 5,400円 (3,600+1,800)

* 会費払込先 郵便振替口座 01050-3-11902 加入者名「国際語教育協議会」
または イーバンク銀行 マーチ支店 普通預金 3302340 「森川和徳」
(イーバンク銀行の口座からの送金は無料)

Februaro 2009

La Harmonio

N-ro 219

Tutlanda Organo de Rondo Harmonia
Eldonejo : Rondo Harmonia

<< 目次 >>

2009年RH全国協議会の案内 2 頁

3月8日(日)午後2時~4時、京都市内にて開催。出席希望の方は、書記局(12 頁参照)宛て事前にご連絡ください。



RH組織委員立候補者の選挙公報 4~7 頁
投票資格のある方は、この選挙公報を読んでください。

Bovo estas la animalo por 2009

ウィーンでザメンホフに会いそこねた話 大澤 孝明 8~9 頁

エスペラント界の行事 10~11 頁

今年はザメンホフ生誕150周年

今年は、エスペラントの創始者ザメンホフ(Ludoviko Lazaro Zamenhof, 1859-1917)の生誕150周年です。

これを記念して、世界各地でイベントが開催されます。その最大なものが、ザメンホフが生まれたビャウイストク(ポーランド)で開催される第94回世界エスペラント大会(今年7月25日~8月1日)です。

ザメンホフが住んでいた時、ビャウイストクは、ロシア人、ポーランド人、ドイツ人、ユダヤ人の4つの民族に分断されており、これがエスペラントを創る動機となりました。今は平和な町になっています。



2009年RH全国協議会の案内

RHの最高決議機関である全国協議会を下記の要項で開催します。
RH会員はどなたでも参加できます。ご参加をお待ちしています。

日時：3月8日(日) 午後2時～4時

会場：貸会議室「エスペラント会館」

〒600-8455 京都市下京区西洞院通五条上る八幡町537-6

電話 075-343-3120

<http://ha3.seikyoku.ne.jp/home/setuko/esperanto.html>

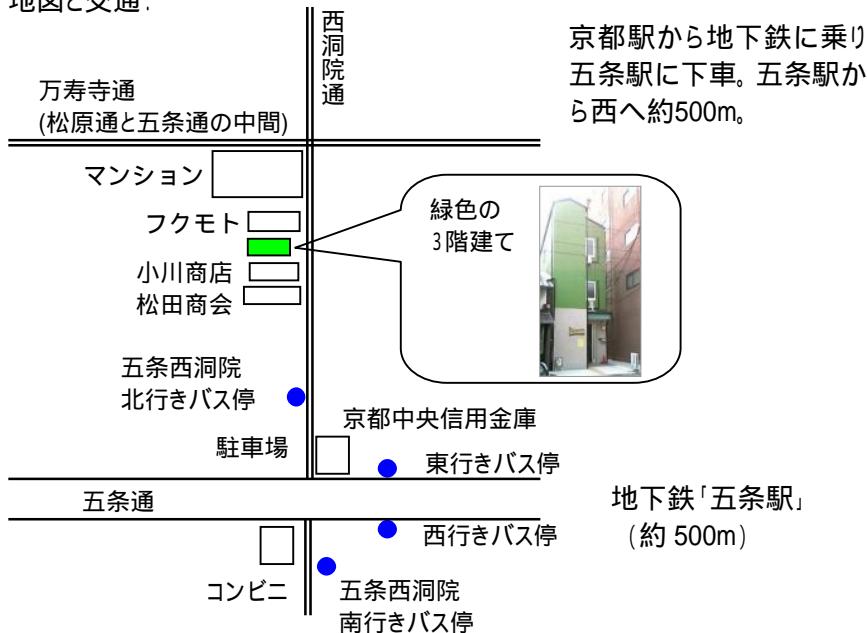
議題： 組織委員選挙 2008年活動総括 2009年活動方針
(財務、情宣、ホームページ、日本大会の取組み等)

参加申込み：参加を希望される方は組織委員会書記局(竹森)まで必ず
連絡してください。

〒631-0815 奈良市西大寺新町 1-2-31-703 竹森浩俊

FAX 0742-36-4302 電子メール takeh703@deluxe.ocn.ne.jp

地図と交通：



第94回世界エスペラント大会

期日：7月25日～8月1日

会場：ポーランド・比亚ウストク市

ホームページ <http://94uk.bialystok.pl/>

L.L.ザメンホフ(1859年12月15日生)の生誕150周年を記念



比亚ウストクを紹介するエスペラント語のインターネットテレビが開設されています。http://www.itvc.pl/?link=nasze_programy,id:14

第40回国際エスペラント子ども大会

期日：7月25日～8月1日

会場：ポーランド・スプラシル

ホームページ <http://bertosch.free.fr/iik2009/index.html>

第41回エスペラント林間学校

期日：9月19日(土)～21日(月/祝日)

会場：(未定)

第96回日本エスペラント大会

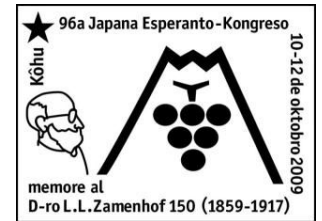
期日：10月10日(土)～12日(月、休)

会場：山梨英和大学(山梨県甲府市)

大会テーマ：21世紀の地球語エスペラント

-- ザメンホフ生誕150周年

大会記念品：川西徹郎さん編纂「ザメンホフ選集(仮題)」



参加費	2月末日まで	7月末日まで	8月1日以降
一般	5,000円	6,000円	7,000円
不在参加	3,000円		

(参加費は事前支払いで、宿泊・食事などの費用は含みません。)

問合せ・参加申込み先

〒162-0042 東京都新宿区早稲田町12-3 (財)日本エスペラント学会

TEL 03-3203-4581 FAX 03-3203-4582

電子メール jek96k@jei.or.jp

郵便振替口座 00100-4-400372 「日本エスペラント大会」

エスペラント界の行事

行事の詳細を知りたい方は
編集部までお問合せください。

2009エスペラント全国セミナー
期日：5月3日(土)～5日(火/祝日)
会場：茂庭荘(宮城県仙台市)

第83回九州エスペラント大会
期日：5月9日(土)～10日(日)
会場：宮崎レマンホテル(宮崎市)

第57回関西エスペラント大会
期日：6月6日(土)～7日(日)
会場：高槻市現代劇場(大阪府高槻市)
大会テーマ：今なぜエスペラント Ni montru, kial ni nun esperantistas.
エスペラント講演：中国常州エスペラント協会の張常生氏予定。
ホームページ <http://www.geocities.jp/fdtsh088/KEK57.html>

第58回関東エスペラント大会
期日：6月7日(日)
会場：船堀タワーホテル研修室(東京都江戸川区)
ホームページ <http://members.jcom.home.ne.jp/verda/kantorenmei.htm>

「エスペラントの日」講演会
期日：6月14日(日)
会場：日本エスペラント学会・エスペラント会館(東京都新宿区)

「エスペラントの日」

1906年(明治39年)6月12日に、日本で最初のエスペラント団体「日本エスペラント協会(Japana Esperantista Aio)」が設立され、日本でのエスペラントの普及が本格的に始まりました。この年に、二葉亭四迷のエスペラント学習書が出され、第1回日本エスペラント大会が開催されました。

第65回国際青年エスペラント大会
期日：7月18日～25日
会場：チェコ・リベレツ
ホームページ <http://ijk.esperanto.cz/eo/>



Cignoj

2009年R H組織委員立候補者の選挙公報

本誌218号(昨年12月発行)の2009年度R H組織委員立候補受付の案内により、3名の立候補者がありましたので、組織委員の信任投票を行います。立候補者の選挙公報(4～7頁)を読んでいただき、信任の可否(×)を記入し投票してください。

R H組織委員選挙管理委員会 杉山茂喜
〒427-0024 静岡県島田市横井2丁目22-7
電子メール musxo2@yahoo.co.jp

- (1)立候補者名(3名、選挙公報は原稿到着の順番)
森川 和徳(京都)、竹森 浩俊(奈良)、笹沼 一弘(滋賀)
- (2)投票資格 2008年度会費を納入済みの会員
2009年度会費を払っていても、2008年度会費を払っていない方は投票資格がありません。ご了解ください。
- (3)投票用紙
投票資格のある会員の皆さんに、投票用紙と返信用封筒を郵送しています。
投票資格があるにもかかわらず、投票用紙が届いていない場合は、財務担当者(森川)まで至急連絡してください。
〒618-0071 京都府大山崎町大山崎尻江 13-8 森川和徳
TEL 075-955-1627 電子メール kz_morikawa@yahoo.co.jp
- (4)開票について
3月8日の全国協議会にて出席者立会いのもと開票し、有効投票の過半数の信任票を得た候補者を2009年度組織委員とします。選挙結果は本誌220号(5月発行予定)で発表します。
- (5)R H組織委員の任期
3月8日の全国協議会から来年(2010年)の全国協議会までです。全国協議会で新しい委員が決まるため、全国協議会終了時点で組織委員の交代が行われます。

森川 和徳

1. 立候補者の自己紹介、経歴

氏名：もりかわ かずのり

年齢：53歳

性別：男

職業：会社員

住所：京都府乙訓郡大山崎町

入会年：1974年

活動歴：現組織委員、La Harmonio 編集担当、財務担当

メールアドレス：kz_morikawa@yahoo.co.jp



2. 現在のRH活動およびエスペラント運動についての意見

数十年前のように、ポスターを貼ったり、ビラを配ったりすることができませんので、マスコミへのアピールも難しいのが実情です。エスペラントを学習するのも、講習会に参加するよりも、インターネットを介しての場合が多いようです。

インターネットがますます重要となるようです。

3. 2009年度、どのような活動を目指すのか

(1) 本誌 La Harmonio 発行と、情報活動

継続して、La Harmonio の年4回発行と、同窓会員向け情報紙の年1回発行、メールマガジン Informo-leteroj の年6回発行を实行したいと思えます。

La Harmonio を郵送する方々とPDFダウンロードする方々の割合が1:2になり、本誌の印刷・製本・発送作業が大きく減り、事務作業が大変楽になりました。メールアドレスをお持ちであれば、会費納入はPDFダウンロードをご選択ください。

(2) ミニ大学

日本エスペラント大会や関西大会での分科会として、継続して実施し

ところで、ザメンホフはなぜウィーン大学へ勉強に来たのだろうか。分離派の画家グスタフ・クリムトなどが活躍した19世紀末文化の爛熟期、化学者ヴィルヘルム・オストワルトの「エネルギー一元論」(energetiko)に対して、「原子論」(atomismo)に命を賭けた物理学者ルードヴィッヒ・ボルツマンなど、錚々たる顔ぶれが教授を務めていたウィーン大学は、当時、世界随一の先進的大学だったし、今もその栄光を受け継いでいる。(ついでながら、国際語史上、オストワルトは後に、国際語選定委員会で「イード」(Ido)を選定する上で大きな役割を果たし、ノーベル賞受賞者(1909)という知名度を活用してそれを普及しようとした。)ザメンホフは、当時、全診療科目医としての道をあきらめ、眼科医として再出発しようとしていた。それに際して、世界第一線の眼科学を学ぼうとワルシャワからウィーンへ来たのだろうか。彼はウィーンでどんな生活を送ったのだろうか。世紀末文化の繚乱をどんな目でみていたのか。人間・ザメンホフを知るために、このあたりのことも知りたいものだ。

(終)

< 編集部註 >

本文中の「VikipedioのVienoの項目」は、次のインターネットのアドレスに載っています。Vikipedioはインターネットの百科事典「ウィキペディア」のエスペラント版です。

<http://eo.wikipedia.org/wiki/Vieno>

VikipedioのVienoの項目より、写真を転載しました。立派な胸像です。



ウィーンでザメンホフに会いそこねた話

大澤 孝明 (奈良県生駒市)

2008年11月、仕事でウィーンに1週間滞在した。

ウィーンにはザメンホフがいる…もちろん生身の、ではなく、胸像である。長らくご無沙汰つづきなので、せめてごあいさつを、というわけで会いに出かけた。

5年ほど前にウィーンへ来た際に、ひどく降りしきる雨の中を、家内と一緒にそれとおぼしきあたりをザメンホフ像を探して歩いたが、結局見つからなかった。それで今度こそはと意気込んで出かけた。ウィーンは3度目で、多少の土地勘もあると思っていたのですぐに見つかるだろうと高を括っていたが、そうは行かなかった。

森本哲原著『世界の都市の物語 ウィーン』(文芸春秋社)によると、シュテファン大聖堂にほど近いヴィプリンガー通りをショットンリンクへ向かって下っていく途中の公園にあるらしい。そのあたりを歩いてみたが、公園にあったのは別人の胸像。冬風の中、周辺を何度も歩きまわったがどうも見つからない。自分の見当が間違っているのか。ウィーンにある国連機関(ウィーンは、ニューヨーク、ジュネーブと並んで、国連機関が集中する3つの都市のひとつなのだ)で開かれた原子核物理の専門家会議が終わったあとのわずかの時間の探索だったので、わからずじまいだった。

後になって、森川和徳さんにWikipediaのVienoの項目にザメンホフ像の写真が載っていると教えていただいた。なんと、オペラ座の南、カールスプラッツにあると書いてある。まったくの見当違いである。それにしても森本哲郎の本の記述との食い違いは何だろう。だいたいカールスプラッツは大公園で、森本氏が書いているような小公園ではない。

ヴィプリンガー通りあたりは、数年前にかなり大規模な町並みの改修があったらしい。ザメンホフ像はその時に移動されたのだろうか。それとも森本氏の記憶違いなのか。

2度もザメンホフ像に会い損ねたとは口惜しい。こんどウィーンに来たときには「3度目の正直」を果たしたい。

ていきたいと思います。

ミニ大学への参加者や発表者をお待ちしております。

竹森 浩俊

1. 立候補者の自己紹介、経歴

氏名: たけもり ひろとし

年齢: 48歳

性別: 男

職業: 会社員

住所: 奈良市

入会年: 1979年

活動歴: 組織委員書記局

メールアドレス: takeh703@deluxe.ocn.ne.jp



2. 現在のRH活動およびエスペラント運動についての意見

2008年度の活動を挙げてみると、RHの全国協議会への参加、KLEG関西大会への参加、JEI日本大会への参加となります。また、ライフワーク的に取り組んでいる万葉集の翻訳については、19首を訳したに留まっています。目標が第1巻の翻訳でしたから、第1巻は89首ですから、達成率は22.6%となります。

少し脱線ですが、翻訳について。翻訳とは、それぞれの論理空間に置き換えることであって、それぞれの論理空間に置き換えられない時、新たな概念を学習することになるという主張があります。(注1)

この主張に即して考えてみると、エスペラントが立派な国際共通語として機能するとは、異なる言語の論理空間での置き換えを十分可能にすることと、新しい概念が十分に学習できるかということになります。前者は語彙的な置換、後者は新しい概念形成の規則的で生産性のあるルール(文法?)作りということが主たる方法となるのでしょうか。もっとも、

翻訳が論理的なもののみならず、小説やもっといえば”詩”のような場合は、意味論以外にも韻律・リズムが重要になってきます。エスペラントが立派な国際共通語として機能するための条件は、さらに複雑になるでしょう。エスペラント運動は、エスペラントの普及に伴って、国際共通語についての意味を見直し続けることとなります。

3. 2009年度、どのような活動を目指すのか

エスペラントがエスペラントとして価値を得るには何が必要かという、まさに私が私として価値を求めるものと一致した時、その価値が得られると主張することは、とても利己的であるとか、あまりに個人的であるとか考える必要はないのではというのが、今の私の見解です。別の言い方をすれば、例えば、エスペラントの社会的意義、平和とか人類愛とか言語的平等とか意思疎通における中立性とかは、まさにかかわっている個人個人がどのような社会的意義を支持・主張していくかと同位相で進行するという事です。というわけで、まだまだ万葉集の翻訳を続けていくこととなります。

(注1) 野矢茂樹「翻訳できないものは理解できない」講談社「本」

笹沼 一弘

1. 立候補者の自己紹介、経歴

氏名 : ささぬま かずひろ

年齢 : 44歳

性別 : 男

職業 : 会社員

住所 : 滋賀県大津市

入会年 : 1983年



活動歴 :

京都の学生ロンドで活動後、関西市民の活動に参画。

関西書記局会議メンバー・組織委員等を務める。

1997年以来、RHのウェブサイト運営に関わる。

メールアドレス : kaz-ssnm@nifty.com

2. 現在のRH活動およびエスペラント運動についての意見

日本のエスペラント界では、高齢化する各地の活動家の世代交代や、若年層への支持拡大が大きな課題となって久しくなります。そんな中で、学生中心の組織であったRHが大きな存在意義を持った時代もありましたが、残念ながら、RHの学生層はすでになく、新陳代謝も期待できない状況です。

こういった現状においてすべきことは、内向きの活動だけではなく、一般社会に対し、エスペラントで、どれだけ社会のため、地球のために貢献できるかを示していくこと。これなしには、エスペラントの支持基盤を広げていくことは不可能です。

3. 2009年度、どのような活動を目指すのか

RHでは、ここ何年か、日本大会や関西大会で、ミニ大学の取り組みを続けています。あくまでもエスペラント界内のものではありませんが、一般社会へのアピールにつながっていく、重要な活動ではないでしょうか。この試みをさらに成長させていくべく、今年も尽力していきたいと思っています。

(RH組織委員選挙公報 終)

